

その時の様子をトレースし、 現場従業員の負荷を軽減へ

お客様工場では画像検査装置による不良品の流失防止は済んでいましたが、商品の品種追加や増産により不良品が増加していました。そこで、現場従業員の行動に視点を置いた根本対策に取り組みました。

お客様のプロフィール

会社名
弁当惣菜製造工場様

従業員数
約400人

食品飲料

工場

業種
米飯、惣菜、サラダ等の製造

所在地
国内1工場

導入前の課題

- 不良品が発生する原因が不明
- 商品の品種追加や増産で従業員の負荷が増大
- 悪意を持った従業員による意図的な異物混入

選んだ理由

- 原因追求のために現場動画が使える
- 現場動画と一緒に全件の生産情報も見れる
- 性悪説に基づくトースもできる

導入の効果

- 従業員のムダな作業がわかり不良対策できた
- 設備の運用改善にも繋がった
- 従業員の背任行動への抑止の効果もあった



- 不良品発生に至る従業員の行動が明確化
- 監視されることによる従業員の意識改革にも効果

ポイント

- a ▶ 安価なカメラによる現場様子の録画機能
- b ▶ 安価な動画保存サービス(クラウド)の活用
- c ▶ 検査装置の不良検知時刻を起点とした動画確認

導入費用・納期

- ハードウェア購入費用 50万円
- 動画保存サービス利用料 数万円/月
- システム構築費(工場導入費除く) 100万円
- 納期：約2カ月